

鴻巣市立田間宮小学校(創立152年) 学校だより

令和7年度2月



# たまみやっこ

— 夢に向かって 心豊かに 伸びゆく子 —

たくましく元気な子 まじめに勉強する子 みがき合い高め合う子 やさしく助け合う子

## 子どもたちの「ウェルビーイングの実現」に向けて

校長 若林 朋子

「暦の上では春」と言われますが、まだまだ厳しい寒さが続いています。しかし、校庭の木々に目を向けると、芽が少しずつ膨らみ始め、確実に新しい季節が近づいていると感じさせてくれます。2月は、現在の学年の「まとめ」の時期であると同時に、次のステップへの「準備」の月でもあります。この1年間、子どもたちは毎日の授業や行事等を通して多くのことを学び成長してきました。ご家庭でも、ぜひ、この1年で「できるようになったこと」「がんばったこと」に光を当てて、お子さんと話し合ってみてください。子どもたちにとって、自分の成長やがんばりに気付くことが自信につながり、そしてその後の学習などへの意欲につながります。学校でも、学習の総仕上げを行うとともに、一人一人が自分の成長を実感し、自信をもって次の一步を踏み出せるよう支援してまいります。

さて、近年教育現場では「ウェルビーイング」の考え方が重視されるようになってきました。文部科学省は最新の「教育振興基本計画」において、教育を通じてウェルビーイングを向上させることを最重要コンセプトとして位置づけています。ちなみに、ウェルビーイングとは、「心身が健康で、自分らしく、社会とつながりながら幸せを感じて生きている状態」を指します。子どもたちのウェルビーイングを実現させるために、様々な視点でのアプローチが考えられますが、本校が日々大切にしていることは「学ぶことが楽しい」「友だちと関わるのが楽しい」「できた」「分かった」という実感が得られるような教育活動を展開することです。子どもたちにとって、学習や遊びの中で「楽しい」と実感できることこそが、充実感や達成感となり、さらには次への意欲や活力につながる大きな原動力になると…これまで出会ってきた多くの子どもたちとの関わりを通して実感しています。

12月に実施した2回目の児童による学校評価の中で、「楽しく学習することができた」と91%の児童が回答していました。学年末の2か月、9パーセントの児童も「楽しく学習することができた」と実感できるよう教職員一丸となり、教育活動の充実を図ってまいります。なお、子どもたちのウェルビーイングの実現のためには、保護者や地域、教職員等、学校に関わる全ての人の幸福を尊重しながら、共に創り上げていくものであると捉えております。引き続き、本校の教育活動にご理解のうえ、ご協力賜りますようお願い申し上げます。